

2020年9月16日

## 中医協概要報告（2020年9月16日開催）

### （第199回診療報酬基本問題小委員会・第466回総会）

厚労省は9月16日、第199回診療報酬基本問題小委員会及び第466回総会を開催した。

#### **新型コロナの影響も踏まえた調査実施を議論 ー診療報酬基本問題小委員会**

冒頭、小委員長に公益委員の小塩隆士氏（一橋大学経済研究所教授・中医協会長）を選出した後、「入院医療等の調査・評価分科会の今後の検討について」を主な議題として、令和2年度・令和3年度の調査について、調査内項目やスケジュールなどが示され、意見が出された。

基本的な考え方として、新型コロナウイルス感染症の影響により経過措置期限が延長されるものを含め、1年間の長期の経過措置が設けられている項目については2021年度調査とし、2020年度に調査するものについても経過措置があるものは経過期間終了後に調査期間を設定することが示された。

2020年度調査、2021年度調査のそれぞれの調査項目として、「一般病棟入院基本料等における「重症度、医療・看護必要度」の施設基準等の見直しの影響について」、「地域包括ケア病棟入院料及び回復期リハビリテーション病棟入院料の実績要件等の見直しの影響について」、「療養病棟入院基本料等の慢性期入院医療における評価の見直しの影響について」を2020年度、2021年度の両方で設定し、2020年度には「医療資源の少ない地域における保険医療機関の実態について」を、2021年度には「特定集中治療室管理料等の集中治療を行う入院料の見直しの影響について」を設定することが提案された。

引き続き回収率の向上を図るため、従来の取り組みに加えて、調査協力を依頼する関係団体を増やすことや、新型コロナウイルス感染拡大に伴う影響を踏まえ、オンラインでの回答方法を活用し負担軽減に配慮することとされた。

議論では、新型コロナウイルス感染症の影響下でも調査協力数を確保し、精緻なデータを集める視点から意見交換が行われた。診療側の松本吉郎委員（日本医師会常務理事）は「新型コロナウイルスの影響による混乱の推移をよく見た上で、例年通りの方法にとらわれず、現場の負担にも配慮した柔軟かつ大胆な対応を」と要望。支払側の幸野庄司委員（健康保険組合連合会理事）は、「地域や病院の特性がわかるような調査票の工夫」や、経過措置の延長も踏まえ議論の時間を確保するため「2021年3月とされている2020年度調査の結果報告を1か月前倒しすること」を要望した。その他、回収率向上のためオンラインでの回答など事務負担軽減を推進すべきとするなど、回収率向上の取り組みについて複数の意見が出された。

#### **「会長預かり」のコロナ対応は提案通り決定扱いに ー第466回総会**

総会では、▽医療機器の保険適用について、▽先進医療会議からの報告について、▽最適使用推進ガイドラインについて、▽診療報酬基本問題小委員会からの報告について、▽被災地における特例措置について、▽最近の医療費の動向について、▽その他の項目について、協議・報告が行われた。全体を通じて、ほぼ意見なく了承・確認された。

その他として、464回総会で議論され「会長預かり」とされた、「重症度、医療・看護必要度の施設基準」や「回復期リハビリテーション病棟入院料1、3」、「地域包括ケア病棟入院料1、3」の新型コロナウイルス感染症の影響による経過措置期間の延長について、提案の通り決定することが報告された。200年9月末の経過期間が2021年3月31日まで延長されることになる。反対を表明していた幸野委員は「会長の決定を尊重する」としつつ「一律の延長は残念。今後の調査結果を待って妥当性を判断したい」とコメントした。

その他、各議題の概要は以下の通り。

#### ○医療機器の保険適用について

C1区分として「メドトロニック Percept PC」（保険償還価格1,800,000円）、「Woven EndoBridge デバイス」（保険償還価格1,530,000円）及び「ディスタルアクセスカテーテル」（保険償還価格90,300円）、「Aquala ライナー」（保険償還価格76,100円）の4製品が、C2区分として「キャスワークス FFRangio」の保険適用が提案され、承認された。2020年12月より保険適用となる。

#### ○先進医療会議からの報告について

先進医療会議で、先進医療Aの技術として「胃粘膜下腫瘍に対する内視鏡切除」が承認されたこと、「細胞診検体を用いた遺伝子検査」が共同実施として承認されたことが報告された。

#### ○最適使用推進ガイドラインについて

「キイトルーダ点滴静注」について、食道癌への効能・効果追加に係るGL策定及び、用法・容量に「1回400mgを6週間間隔」を追加したことに係る既存のGL修正が報告された。「イミフィンジ静脈注」について、小細胞肺癌の効能・効果の追加に係るGLの策定が報告された。あわせて、それぞれに係る留意事項の改正が示された。

#### ○診療報酬基本問題小委員会からの報告について

同日開催された小委員会の内容について、意見も含めて報告された。

#### ○被災地における特例措置について

①東日本大震災に伴う被災地特例の継続、②令和元年台風第15号及び台風第19号に伴う特例措置の予定通り（2020年9月30日）の終了、③令和2年7月豪雨による被災に伴う被災地特例措置の今後の取り扱い（2021年3月末を期間として、延長の有無について2021年1月にアンケートにより利用状況の調査を行い、2021年3月に判断）の3点が報告された。

#### ○最近の医療費の動向について

令和元年度の概算医療費について、43.6兆円で前年度から約1兆円増加したこと、医療費の伸び率は2.4%であり過去4年間の平均1.6%よりやや高いが、診療報酬改定率の影響などを踏まえると近年と同程度の範囲であること、受診延日数の伸び率減少と1日当たり医療費の伸び率の増加という近年の傾向が継続していることが報告された。また、「調剤医療費（電算処理分）の動向」もわせ

て報告された。新型コロナウイルス感染拡大の医療費に与える影響について、2月までは目立った影響はないが3月分は対前年同月比で-1.2%となっており、今後の動向には注意するとされた。

○その他

7月1日時点の「主な施設基準の届出状況」及び「主な選定療養に係る報告状況」が示された。また、8月19日の第464回総会で議論され、会長預かりとなった「新型コロナウイルス感染症への対応とその影響等を踏まえた診療報酬上の対応について」の議事について、引き続き影響等を注視しつつ今後も必要な対応を検討することを前提に、決定扱いとすることが小塩会長より報告された。

以上

配布された資料は、保団連情報共有スペース「社保・審査対策」の「社保/審議会等」にて公開しておりますので、併せてご覧下さい。また、厚生労働省HPでも公開されています。

第199回診療報酬基本問題小委員会 [https://www.mhlw.go.jp/stf/shingi2/0000186974\\_00011.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/shingi2/0000186974_00011.html)

第466回総会 [https://www.mhlw.go.jp/stf/shingi2/0000212500\\_00081.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/shingi2/0000212500_00081.html)

<会内使用以外の無断転載禁止>